

今年も球磨支援学校で大切に育てられた花が町内の各施設に届きました

球磨支援学校（社協が指定するボランティア協力校）はボランティア活動の一環で毎年、町内の各福祉施設に花の苗を届けられています。

花植えボランティアや花の苗は、あずみ野、なごみ苑、シルバート、わかば園、優光、カワウチ優光、亀さん、ぴゅーぱ、花みずき、きずな、心優、多良木町デイサービスセンター、社協など多くの施設で綺麗な花を咲かせています。



ボランティア登録者の中で161人がポイントを交換されました

平成28年度のボランティアポイント登録者は301人で、その内161人が商工会の商品券や図書カード、えびすの湯入館券と交換されました。まだ、登録されていない人でボランティアに興味があり、「はじめてみようかな?」と思われるなら、ぜひボランティアセンター(42-1112社協)までご連絡ください。特技や趣味を生かしたボランティア活動をご紹介します。



「赤十字運動」にご協力ください

日本赤十字社では、毎年5月を「赤十字運動月間」として、皆さまに赤十字会員への加入をお願いし、年額500円以上の会費のご協力とともに、赤十字の人的活動へのご理解を求める運動を展開しております。

納入いただきました会費は、日本赤十字社熊本県支部に納付し、次のような赤十字活動に役立てられます。

- 災害救護活動 … 国内災害現場での医療救護や救援物資の配布等
- 国際活動 … 海外の紛争や自然災害による被災者に対し、全世界の赤十字社が協力して支援
- 赤十字講習会 … 心肺蘇生やAEDの操作方法などの講習等
- 赤十字ボランティア … 県内で約16,000人のボランティアが災害に備えた訓練や地域の要望に応じた活動を行う
- 青少年赤十字(JRC) … 将来を担う青少年が、赤十字精神を基に自らを育むことを目指して活動
- 医療事業等 … 基幹災害拠点病院としての役割を担う赤十字病院、血液事業や健康管理事業等にも取り組む

特に昨年発生した熊本地震では、4月14日の地震発生直後から、日本赤十字社の本社及び九州各県支部と合同の災害対策本部を設置し、全国の日赤から救護班や医療関係者が集結し、益城町、西原村、南阿蘇村を中心に医療救護や救援物資の配布、こころのケア活動などを積極的に実践し、被災者の支援を行いました。

(この活動は平成28年7月31日まで続けられました。)

社会福祉協議会会費納入のお願い

社会福祉協議会では、「誰もが安心して暮らせる福祉の町づくり」、「ともに支えあう福祉の地域づくり」を目指して事業を推進しています。社協の地域福祉活動の運営は、皆さまからの寄付金をはじめ町補助金や赤い羽根共同募金の配分金、今回お願いしております社協会費により支えられています。

毎年ご協力いただきありがとうございます。社協会費は、住民相互の福祉の向上のために、皆さまのご理解のもとに社協の会員として1戸あたり500円の会費の納入をお願いするものです。会費につきましては、地区社協、いきいきサロン、ボランティア育成事業、歳末助け合い支援金、老人福祉、障害児・者福祉、児童・青少年福祉、母子・父子福祉、福祉育成援助活動などの運営費として使用させていただきます。

本年度も地域福祉活動を推進してまいりたいと思っておりますので、社協会費へのご協力・ご支援をどうぞよろしくお願い申し上げます。

小川 広文(故 廣海 多6区)の2
宇佐 信行(故 岩雄 久3区)
有蘭 浅子(故 親則 多1区)の2
梅山 昭十四(故 ミツメ 久8区)
松原 敏幸(故 靖子 多6区)の2
宮原 律子(故 惟允 多1区)の1
赤池 二郎(故 ミエ子 多2区)の1
尾方 タエ(故 羊助 多1区)の1
川辺 和也(故 クニ子 久9区)
恒松 成一(故 征雄 黒東9区)
す。(敬称略: 受付順)
冥福を心からお祈り申し上げます。



次の方々から社会福祉のためにご寄付をいただきました。皆さまの温かい善意に感謝しあげますとともに、故人のご冥福を心からお祈り申し上げます。



事務局長 北原 義隆
4月1日付の人事異動により、多良木町社会福祉協議会事務局長として勤務することになりました。